

## 分科会報告 ⑥—2

1. コーディネイター 和合アヤ子

2. テーマ

コミュニケーション力をつけよう

3. 参加者数 7名

宮城県 3名 山形県 2名 福島県 2名

4. ディスカッション内容

### はじめに

初対面のためかちょっと緊張気味で始まりました。

最初に自己紹介と、なぜこのテーマを選ばれたのかを伺いました。分科会のメンバーは、専業主婦から企業をされた方、転職され一般企業で営業されている方、老人介護施設に勤務されている方、食の大切さから食育アドバイザーされている方、区役所で窓口業務にかかわっている方、ボランティア活動をされている方、職種、年齢は様々ですが、他人、家族、子供、孫と人とのかかわりをとても大切にしておられ、多様なキャリアをお持ちの方々です。

皆さんからコミュニケーションについて伺いました。

人間関係を円滑にする。空気を読む。自分にも感情があり相手にも感情があり難しい。情報の伝達がうまくできない。人前で緊張しないでリラックスしてコミュニケーションするコツはなにか。苦手な相手でもストレスなくかかわるには。といった内容のお話がありました。

専業主婦から起業された方から「人口乳房の製作技術を習得し必要とする方、乳がんで乳房を摘出された方に喜んでもらえると考えて起業した。サンプルやチラシを作成はしたがこの先前に進めないのどうしたら道が開くことが出来るか。営業が難しい。コミュニケーションがうまくできない。」と言った発言が上がりました。

参加者の皆さんからそれぞれの立場と経験のなから意見をいただきました。断られても懲りずに何度も足を運ぶことも大切。相手の心の中に入れるようになるのは時間がかかるがあきらめずにアタックすること。サンプルを手にとって触れていただき実物の良さを分かっていたこと。パンフレットやインターネットなどを上手に活用すること等、活発なアドバイスがありました。皆さんしっかりとコミュニケーション力発揮しておられました。

### まとめ

参加された皆さんの立場や経験から、コミュニケーションについて議論されましたが、個々のコミュニケーション力は素晴らしいものがありました。

自分との考えや意見の違いがあっても感情に走らず、相手(他人、家族、子供、孫)の話をしっかり聞く。挨拶をきちんとする。「ありがとう」と「ごめんなさい」をはっきり言う。会話のキャッチボールができて会話を途切らない。相手にわかりやすくゆっくり話伝える。相手を思いやる心で丁寧に接する(気配りができる)。女性ならではの笑顔を忘れない。等を心がけることが、自身のコミュニケーション力(人間関係を円滑)をつけ「聞き上手」「話し上手」「伝え上手」になること。心がけ次第で楽しい人生を送ることに繋がることを共有いたしました。短時間ではありましたが本日の素敵な出会いに感謝いたします。ありがとうございました、